

2025年明けましておめでとうございます！

ファン・サポーターの皆様、ご支援を頂いている企業の皆様方をはじめ、FC 岐阜を応援して頂いているすべての皆様には旧年中の熱いご声援、ご支援に心から厚く御礼を申し上げます。

昨シーズンは第7節まで3連勝を含んで好スタートを切りましたが、第8節から第16節まで3連敗を含む9戦勝ちなし状態が続き、上野監督が辞任いたしました。第19節から天野賢一ヘッドコーチが暫定で指揮をとり、3連敗、4連敗もありましたが、第29節から天野監督と大橋浩司ヘッドコーチ体制を発表した後、最終38節までの10試合では4連勝を含んで6勝2分2敗で順位を8位まで押し上げることが出来ました。目標とした6位以内のプレーオフ圏、2位以内の昇格圏に届かず、昨年と同様の8位に終わったことは誠に残念でしたが、最終7戦での上位チームに対する選手たちの大健闘振りは、スローガンである“MOVE YOUR HEART!”を正に体現し、皆様にはシーズン最後に明日へ繋がる喜びと感動をお届けできたのではないかと考えています。

昨年の6月29日(土)に開催した第19節ヴァンラーレ八戸戦での「岐阜市民総力戦」は、柴橋正直岐阜市長をはじめ、日比野克彦さん(岐阜県美術館館長兼東京芸術大学学長)デザインによる岐阜市ホームタウンデー記念Tシャツを着た4,100名の岐阜市民と永田薫プロモーション大使の応援も加わった大応援団に感動いたしました。また、当日は十六フィナンシャルグループによるサンクスマッチデーで大勢の皆様にもお越しいただき、試合は惜しくも負けとなりましたが、7,503名のファン・サポーターの皆様到最后まで熱い応援を頂き、感謝いたしております。

一方、FC 岐阜には社会人チームのFC 岐阜 SECOND、アカデミーの高校生年代であるU-18、中学生年代のU-15があり、それぞれも目標に向かって健闘しています。中でも昨年のビッグニュースは、U-15が日本クラブユースサッカー選手権大会の岐阜県大会で優勝し、東海大会では強豪の名古屋グランパスやジュビロ磐田のU-15にも勝って優勝。更に全国の代表チームで戦う全国大会では、ガンバ大阪、セレッソ大阪、FC 東京など、J1チームのU-15にも競り勝ち決勝へと進出。最後は川崎フロンターレU-15生田に敗れて準優勝となりましたが、全国1,682チームの頂点の決勝戦で戦ったことは、FC 岐阜アカデミーの歴史で初めての快挙でした。11月には東海参入プレーオフでも勝利しましたので、U-15は今年の先輩たちの活躍のお蔭で『高円宮杯 JFAU-15 サッカーリーグ 2025 東海』で戦うことができ、一層の活躍を期待しています。

U-18は「プリンスリーグ2024 東海プレーオフ」で敗れましたが、2025シーズンはU-15から昇格する選手たちと一緒にチャレンジするのを楽しみにしています。

昨シーズン中もJリーグトップクラスの美味しい屋台や様々な楽しいイベントの開催、ホームタウン42市町村の皆様や、パートナー企業、ファン・サポーターの皆様のお陰で、平均4,684名、J3リーグでも第4位の88,991名の総入場者数を数えることが出来ました。今シーズンこそは大島康明新監督体制の元でトップチームがJ2昇格に向かって邁進致しますので、どうか『みんなのFC 岐阜』へのシーズンを通しての絶大なる応援を何卒よろしく願い申し上げます。



岐阜市ホームタウンデー記念Tシャツを着用する日比野克彦さん(左)と柴橋正直岐阜市長(中央)

写真：©Kaz Photography/FC GIFU



2024 サンクスセレモニー後の集合写真

写真：©Kaz Photography/FC GIFU